



# 第17回上田八木・金融政策サーベイ(2018年1月)

発表日：2018年1月19日（金）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年1月16～18日
調査先	197先
回答率	90.8%

## （Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（1月22日～1月23日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+1
不変	98	99	▲1
引締	1	1	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	0	+1	▲1

## （Q2）3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	92	95	▲3
上昇	7	4	+3
短期金利予想DI	+6	+3	+3

## （Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	80	86	▲6
上昇	19	13	+6
2年国債金利予想DI	+18	+12	+6

## （Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	76	83	▲7
上昇	23	16	+7
10年国債金利予想DI	+22	+15	+7

## 質問（Q5）現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

（ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません）

	(今回)	(前回12月19日)	変化幅
1. 1年未満	13%	6%	+7%
2. 1年以上3年未満	65%	67%	▲2%
3. 3年以上	22%	27%	▲5%